

賀島列島で確認されているイルカたち

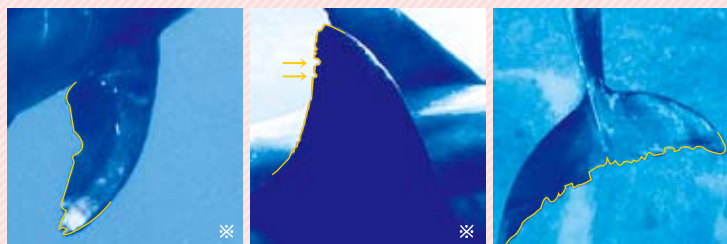
イルカ通信No.90では、母島列島で確認されているミナミハンドウイルカについてご紹介しました。今号では、父島列島から約50km北に位置する賀島列島周辺でよく確認されているイルカたちをご紹介したいと思います。

賀島列島では、2018年までにイルカ調査隊が識別した277個体のうち、116個体(約42%)が確認されています。その中でも特によく出会っているのが、#173とその親の#157、#158、そして#210になります。どのイルカも特徴がはっきりしていて識別しやすい個体です。

◀ #157

メス：観察歴2005年～

これまで賀島列島のみで22回遭遇。右胸ビレに大きな欠けがあり、背ビレと尾ビレもギザギザしている。2015年には白い体色の子供を連れていた(No.64参照)。調査隊での確認は、2017年8月が最後となっている。#173の親。

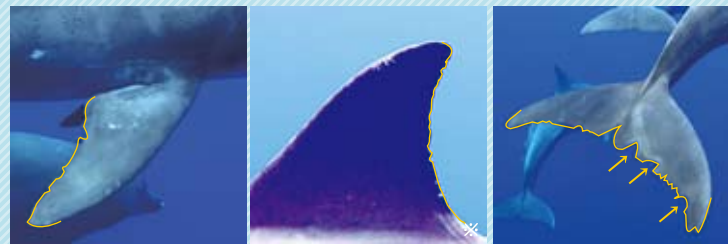


◀ #158

ニックネーム

ゲーフィン…オス：観察歴2005年～

遭遇記録23回のうち、賀島列島での遭遇が22回。2017年5月には父島列島で初めて確認されたが、それ以降、父島列島では見られていない。尾ビレ右側に大きな切れ込みが3つあり、先端も二股になっているのが特徴。



◀ #173

ニックネーム

ミカワ…メス：観察歴2006年～

賀島列島のみで確認しており、遭遇回数は最多の25回。口の左側が途中でクイツと上がっている他、尾ビレや背ビレにも大きな特徴有。2015年11月に初めて子連れているのを確認。2019年7月現在も妊娠中。#157の子供。

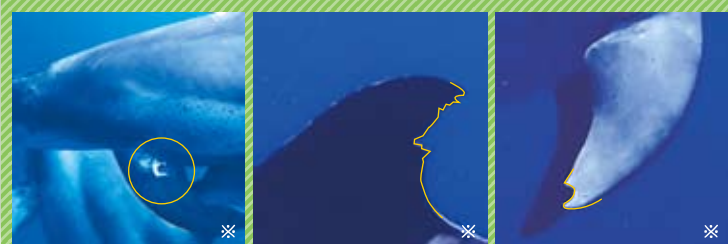


◀ #210

ニックネーム

C子ちゃん…メス：観察歴2006年～

これまでに賀島列島のみで18回遭遇。左胸ビレに「C」マークがついているのが名前の由来。右胸ビレの先端も欠けているため、どちらかの胸ビレを捉えれば識別可能。背ビレの欠けも目立つ。2019年7月には子供を連れているのを確認。



※写真提供：打込みゆき

★ ★ ～OWA夏のナイトレクチャー～ 「もっと知りたい！小笠原のイルカ・クジラ」

【日時】8月16日(金),26日(月)19:30～20:30

【場所】小笠原ビジターセンター
新館レクチャールーム

【費用】300円(資料代として)

※OWA会員・島民無料(対象：中学生以上)

※予約不要



小笠原の海で暮らすイルカやクジラのことをお勉強してみませんか?イルカ・クジラがどのような生き物でどういった暮らしをしているのか、OWA研究員がご紹介します!!